

# ベルギーで人文学を学ぶ

## ベルギーの大学・歴史・ジェンダー研究を中心に

本学では、ベルギーのルーヴェン大学との間で学部レベルの交換留学プログラム、博士前期課程のダブルディグリープログラムが進みつつあります。ベルギーは、首都ブリュッセルにEUの本部があり、さまざまな国や地域から留学生が集まり、英語での教育にも熱心なところです。

今回、ベルギーの著名な大学の一つヘント大学文学部長のマルク・ポーネ先生とテレーズ・ド・ヘンプティンヌ先生（いずれもご専門は歴史学）にベルギーでの勉強・研究・文化を紹介していただく研究交流集会を企画しました。ド・ヘンプティンヌ先生にはベルギーのジェンダー研究に関するお話をしていただく予定です。

めったにないチャンスですので、ぜひご参加ください。

日時： 2015年3月20日（金曜日）  
14時～

場所： A棟1階 生活環境学部会議室

言語： 英語（一部、通訳あり）

留学・ヨーロッパ・EU・ベルギー・歴史・ジェンダーに関心の学生にも是非お勧めください！

**\* ベルギーのお菓子も用意 \***

問い合わせ：国際交流センター [iec@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:iec@cc.nara-wu.ac.jp)

主催：日・EU間学際的先端教育プログラム、国際交流センター、  
アジア・ジェンダー文化学研究センター

協力：公益在団法人フランダースセンター (Flanders Center)

# 先生の紹介

## マルク・ボーネ (Marc Boone) 教授

ヘント大学文学部長。ヘント大学文学部歴史学科（中世史）の教授。

ベルギー国王より王冠勲章コマンドゥール章受章。

専門は中世ベルギーの都市・社会・政治史、ブルゴーニュ国家史など。

研究紹介（日本語訳のもの）

マルク・ボーネ（青谷秀紀訳）「「都市は滅びうる」—ブルゴーニュ・

ハプスブルク期(14-16世紀) 低地地方における都市破壊の政治的動機—」

服部良久編『紛争の中のヨーロッパ中世』（京都大学出版会、2006年）所収

マルク・ボーネ（ブルゴーニュ公国史研究会訳）

『中世末期ネーデルラントの都市社会—近代市民性の史的探究—』

八朔社、2013年。（Marc Boone, *A la recherche d' une modernité civique.*

*La société urbaine des anciens Pays-Bas au bas Moyen Age*, Brussel, 2010.）

## テレーズ・ド・ヘンプティンヌ (Thérèse de Hemptinne)

### 名誉教授

ヘント大学文学部歴史学科（中世史）の名誉教授。

専門は中世ベルギーの古文書学、社会制度史、女性史、ジェンダー研究など。

研究紹介（女性史関連）

Thérèse de Hemptinne, “Princes et courtisans”, in *Le prince et le peuple: Image de la société du temps des ducs de Bourgogne 1384-1530*,

eds. W. Prevenier & W. Blockmans, Antwerpen, 1998, pp.14-33.

Thérèse de Hemptinne, “Jeanne de Castille, une reine entre folie et pouvoir

(1479-1555)”, in *Charles V in Context: The Making of a European Identity*,

eds. M. Boone & M. Demoore, Brussel, 2003, pp. 235-248.

Thérèse de Hemptinne, “La cour de Malines au bas Moyen âge (1477-1530:

Un laboratoire de recherche sur le <gender >?”, in *Women at the Burgundian*

*Court: Presence and Influence*, eds. D. Eichberger, A.-M. Legaré & W. Hüsken,

Turnhout, 2010, pp. 11-24.



国立大学法人

奈良女子大学

Nara Women's University

## ダブルディグリー・ プログラム



奈良女子大学は、日・EU間学際的先端教育プログラム [EU-JAMM : EU-Japan Advanced Multidisciplinary Master Studies（日本側代表校：神戸大学）] に参加しています。

EU-JAMMでは日本側4大学、EU側6大学のダブルディグリー協定校間で博士前期課程（修士課程）学生の派遣・受入を行います。

プログラム参加学生は、2年間の博士前期課程在籍中に旅費と奨学金の支給をうけて協定校に留学し、日・EUの大学からそれぞれ修士学位を取得できます。

奈良女子大学の協定校はベルギーのルーヴェン大学です。

4月には2015年秋からの留学の募集があります。